

2023(令和5)年度予算「3つの方針」

本年度予算は3つの方針で編成しました。
「躍動する兵庫、新時代への挑戦」をスローガンに、さまざまな事業に取り組みます。

I

新しい時代の力を育む

兵庫の持続的な発展に向け、子どもたちの未来を切り拓く力を育むとともに、生き生きと働ける場の創出を図ります。

● 教育への投資の強化

県立学校の空調整備やトイレ改修等の環境充実事業、備品等の整備による部活動等応援事業、新たな特別支援学校の整備、国際教育の充実に向けた検討などに取り組みます。



国際的視野を育む教育の充実を目指します。

● 奨学金返済支援制度の拡充

最大5年間、県と中小企業等が連携して従業員の奨学金返済を支援し、若手社員の負担軽減と中小企業の人材確保につなげます。

現行制度		
県 1/3	本人 1/3	企業 1/3

今回拡充		
県 2/3		企業 1/3

※年間返済額が18万円以下の場合

その他

- 次世代成長産業の立地支援強化
- SDGsの取り組み加速
- スタートアップ支援の強化
- 環境創造型農業の推進 など

II

人の流れを生み出す

インバウンドの回復を見据え、“本物志向の観光”“持続可能な観光地域”“何度でも訪れたい地”を目指した取り組みを展開します。

● 兵庫テロワール旅誘客の強化

7月から始まる「兵庫デスティネーションキャンペーン(DC)」では、県内の食や文化、産業のルーツを訪ねる「テロワール旅」を軸に誘客を図ります。



DCではJRの人気観光列車を使った臨時便を運行予定。

● ひょうごフィールドパビリオンの展開

2025年大阪・関西万博を機に、県全体をパビリオン(展示館)に見立てSDGsを体現するコンテンツを充実させるとともに、国内外にプロモーションを展開します。



但馬牛は兵庫が誇るコンテンツの一つ(写真は県立但馬牧場公園内の博物館)。

その他

- 大阪湾バイエリアの活性化
- 移住推進プロジェクトの展開
- スポーツ・芸術文化の振興
- 高規格道路ネットワークの整備 など

III

一人一人に寄り添う

「安全安心が県民生活を支える基盤」という考えの下、支援が行き届きにくい人たちへの対応に一層力を入れます。

● 不妊・不育症治療支援の充実

不妊治療ペア検査助成事業や不育症治療支援事業では、対象者の所得要件等を撤廃します。



今年1月、齋藤知事は神戸市内の不妊治療医療機関を視察。

● ユニバーサルツーリズムの推進

ユニバーサルツーリズムを推進する条例を全国で初めて制定。ソフト・ハード両面で宿泊施設を支援し、受け入れ体制の充実を図ります。



さまざまな人が気兼ねなく旅行を楽しめる環境整備に努めます。

その他

- 社会的養護経験者(ケアリーバー)の自立支援
- こども家庭センター一時保護所の新規整備
- 働き盛り世代の自殺対策
- 犯罪被害者等支援の強化
- 介護体制の充実 など